



荻窪地域区民センター協議会 40周年記念報



荻窪地域区民センター
協議会会長
中澤一郎

荻窪地域区民センター協議会 設立40周年にあたり

杉並区で一番目に開設された荻窪地域区民センター協議会は区民センター構想の草分けであります。

設立の趣旨は(1)地域コミュニティの形成「健全な地域社会の形成を図るため、区民に活動の場を提供する」(2)行政サービス「区民の利便と生活の向上を図るため、行政サービスの地域的拠点とする。」とされました。

設立以来、先人のご努力で地域住民への各種サービスは学術・趣味・芸術・娯楽・スポーツ・健康・防災まで幅広い活動を支援し、場所の提供をすることで自主グループの設立に寄与してきました。

また、センター協議会自身の企画では講座や講演を多岐に亘り催し、住民の皆様楽しんでいただけるイベントを開催して来ました。40周年を迎えられましたのも歴代協議会委員ならびに町会、自治会、商店会、関係諸団体様のご支援の賜物であり、厚く御礼を申し上げます。

40年が経過し、設立当初に比べ社会構造は大きく変化しています。人口や年齢構造に見える顕著な少子高齢化であります。協議会では、ここ数年、区民センター協議会の存在意義について、並びに住民のセンター協議会に対する認知度の低さを問題視してきました。このことを踏まえて地域懇談会では地域との協働や協力を推進する必要がより高まってきたことを協議させていただいております。そのためには協議会委員のなり手を確保することと、協議会は区民センターという建物の中だけにとどまることなく、地域に溶け込み、人が繋がる活動にも力を入れていかなければならないと強く感じています。

今後とも、地域に親しまれている事業を継承しながら、新しい企画のため、地域の関係団体とのネットワーク作りを推進していきたいと思っております。引き続き、行政のバックアップと関係諸団体様のご支援ご協力をお願い申し上げます。



杉並区長
田中 良

40周年のお祝いに向けて

荻窪地域区民センター協議会設立40周年、誠におめでとうございます。

貴協議会は昭和54年に、その前身である荻窪地域区民センター運営協議会として活動を始められました。以来、荻窪地域区民センターを活動の拠点として、荻窪地域と天沼地域の住民同士の交流やふれあいを育む様々な取組を通して、良好な地域コミュニティの形成に多大なるご貢献をいただいております、深く感謝申し上げます。

さて、この40年の間に起きた社会構造の変化や情報通信技術の進展などにより、我々の生活は大きく様変わりいたしました。また、各地で相次いで発生した大震災や水害などが未曾有の被害をもたらした一方で、地域の助け合いがいかに大切か、そして一人ひとりがどのように行動すべきかを改めて考えさせられる機会ともなりました。

現在、区政にとって、急激な少子高齢化への対応や、首都直下地震への備えが急務となっております。そして近年、区の人口は1年で約5,000人ずつ増加しており、人口増の傾向が今後しばらくの間続くことが予想されています。今後の区政を進めていくなかで、より良い地域づくりを進めていくことが益々重要な課題になっていきます。

これまで貴協議会の歴代の会長や委員の皆様のご熱意と努力で培われてきた活動が、より良い地域づくりを進めるうえでなくてはなりません。これからも地域活動の継承や地域の関係団体との協働を進めていただき、誰もが住み続けたい、住んでみたいと思える杉並区となるよう、ご協力くださいますことをお願いいたします。

最後に、貴協議会の益々のご発展と委員の皆様のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして、私からのお祝いの挨拶とさせていただきます。

「荻窪地域区民センター協議会」40年のあゆみ

- 昭和53年(1978年)
 - 10月 「荻窪地域区民センター運営協議会設置」
- 昭和54年(1979年)
 - 2月 センター報「荻窪地域区民センター」報創刊
 - 3月 杉並区内で初の区民センター誕生
 - 4月 第1回運営協議会総会
 - 6月 「棟方志功展」
 - 10月 第1回「文化祭」(来館者1000人)
- 昭和55年(1980年)
 - 1月 第1回「書道展」
 - 3月 第1回「おぎくぼセンターまつり」
 - 6月 第1回「美術展」区内在住故人有名美術家展
- 昭和56年(1981年)
 - 1月 第2回「書初展」(書道展名称変更)
 - 3月 第1回「地域懇談会」
- 昭和59年(1984年)
 - 4月 センター報「荻窪地域区民センター」報が「わたしのおぎくぼ」に名称口「変更」
- 昭和62年(1987年)
 - 4月 区民センター運営協議会の運営管理が住民に委託
- 昭和63年(1988年)
 - 9月 第1回5館体育まつり(会場:高井戸地域区民センター)
 - 9月 第1回「回春昼食会」
- 平成4年(1992年)
 - 7月 「荻窪地域区民センター」運営協議会が「荻窪地域集会所施設運営協議会」に改称
 - 11月 「本天沼区民集会所」開設
- 平成5年(1993年)
 - 11月 第1回「本天沼集会所まつり」
- 平成10年(1998年)
 - 9月 設立20周年記念講演会開催
 - 11月 設立20周年祝賀会開催
- 平成14年(2002年)
 - 10月 「本天沼区民集会所」開設10周年
- 平成15年(2003年)
 - 3月 「美術展」を「アート展」に変更、第24回「アート展」開催
- 平成16年(2004年)
 - 12月 「荻窪地域集会所施設運営協議会」ホームページ開設
- 平成18年(2006年)
 - 5~8月 「荻窪地域区民センター」館内大規模改修で「荻窪会議室」へ一時移転
- 平成20年(2008年)
 - 3~4月 「荻窪地域区民センター」設立30周年
- 平成21年(2009年)
 - 2月 設立30周年記念講演会「コンサート」開催
 - 3月 設立30周年記念式典開催
 - 9月 協働事業第1回「防災フォーラム」を「西荻地域区民センター協議会」と共同開催
- 平成22年(2010年)
 - 4月 「荻窪地域集会所施設運営協議会」を「荻窪地域区民センター協議会」に改称
- 平成26年(2014年)
 - 10月 「荻窪音楽祭」に「地域ふれあいマチネコンサート」自主企画で参加
- 平成28年(2016年)
 - 1月 「キューバ大使」講演会
 - 2月 第37回「アート展」特別展示「恩地孝四郎」作品展
 - 2月 講演会「荻外荘とまちづくり」
 - 6月 広報紙「わたしのおぎくぼ」域内5小学校全児童へ配布開始
 - 6月 「荻窪の記憶」講演シリーズ開始
- 平成29年(2017年)
 - 2月 第38回「アート展」特別展示「棟方志功」作品展
 - 3月 平成29年度地域懇談会
 - 5月 平成29年度定期総会
 - 5月 元駐ウズベキスタン大使講演会
 - 7月 第39回「おぎくぼセンター祭」
 - 9月 第9回「防災フォーラム2017」(会場:荻窪地域区民センター)
 - 10月 第25回「本天沼集会所まつり」
 - 11月 「地域ふれあいマチネコンサート」(「荻窪音楽祭」)
 - 12月 平成30年度地域懇談会
- 平成30年(2018年)
 - 2月 第39回「アート展」特別展示「神津港人」作品展
 - 5月 広報紙「わたしのおぎくぼ」域内4中学校全生徒へ配布開始
 - 5月 平成30年度定期総会
 - 6月 元駐スウェーデン大使講演会
 - 6月 第1回「さいえんす緑日」
 - 7月 第40回「おぎくぼセンター祭」
 - 10月 第26回「本天沼集会所まつり」
 - 7~11月 40周年記念「荻窪の記憶」を伝える道の愛称募集
 - 11月 「地域ふれあいマチネコンサート」(「荻窪音楽祭」)
 - 12月 第10回「防災フォーラム2018」(会場:西荻地域区民センター)
 - 12月 平成30年度地域懇談会
- 平成31年(2019年)
 - 2月 第40回40周年記念「アート展」特別展示「田河水泡」作品展
 - 3月 設立40周年記念講演会「記念式典・祝賀会、コンサート」(杉並公会堂小ホール)開催
 - 3月 設立40周年記念出版「荻窪の記憶」

「荻窪地域区民センター協議会」の出来事

| | | | | | | | | | | |
|---|--|--|---|--|--|---|--|--|--|---|
| <p>平成31年</p>  <p>3月 40周年記念出版「荻窪の記憶」</p> | <p>平成30年</p>  <p>3月 「40周年記念コンサート」</p> | <p>平成30年</p>  <p>6月 「さいえんす緑日2018」</p> | <p>平成30年</p>  <p>5月 「定期総会」</p> | <p>平成29年</p>  <p>40周年記念シンボルマーク</p> | <p>平成29年</p>  <p>9月 「防災フォーラム2017」</p> | <p>平成28年</p>  <p>2月 「棟方志功版画展示」</p> | <p>平成28年</p>  <p>1月 「キューバ大使」講演会</p> | <p>平成26年</p>  <p>10月 「地域ふれあいマチネコンサート」</p> | <p>平成4年</p>  <p>10月 本天沼区民集会所落成式</p> | <p>昭和53年</p>  <p>10月 「荻窪地域区民センター」運営協議会設置</p> |
|---|--|--|---|--|--|---|--|--|--|---|

世の中の出来事

- 昭和53年(1978年)
 - 日中平和友好条約締結
- 昭和54年(1979年)
 - 第2次石油ショック
 - 東京サミット
 - 国立大で初の共通一次試験実施
 - ソニー「ウォークマン」第1号を発売
 - インベーダーゲーム大流行
- 昭和55年(1980年)
 - イラン・イラク全面戦争
 - 巨人長嶋監督就任
- 昭和56年(1981年)
 - スペースシャトル「コロンビア」発射
- 昭和58年(1983年)
 - 4月 「高井戸地域区民センター」設立(2番目)
 - 10月 「阿佐谷地域区民センター」設立(3番目)
- 昭和59年(1984年)
 - 8月 「西荻地域区民センター」設立(4番目)
 - 10月 「井草地域区民センター」設立(5番目)
- 昭和62年(1987年)
 - 国鉄民営化
- 昭和63年(1988年)
 - 6月 「高井戸地域区民センター」設立(6番目)
- 平成3年(1991年)
 - 8月 「永福和泉地域区民センター」設立(7番目)
 - 日本人初宇宙飛行士「毛利衛」さん飛行
- 平成5年(1993年)
 - 皇太子・雅子様御成婚
- 平成10年(1998年)
 - 冬季五輪長野大会
- 平成14年(2002年)
 - 初の日朝首脳会談
 - 学校週5日制スタート
- 平成15年(2003年)
 - 東海道新幹線「品川駅」開業
- 平成16年(2004年)
 - 自衛隊イラク派遣
- 平成18年(2006年)
 - WBC日本優勝
- 平成20年(2008年)
 - 杉並区レジ袋削減条例化(日本初)
- 平成21年(2009年)
 - 裁判員制度導入
 - アメリカ大統領にバラク・オバマ氏が就任
- 平成22年(2010年)
 - iPad発売
- 平成26年(2014年)
 - 消費税が5%から8%へ
- 平成28年(2016年)
 - 小池百合子女性初の東京都知事に選挙権年齢が18歳以上に引き下げ
- 平成29年(2017年)
 - ドナルド・トランプ氏がアメリカ大統領に就任
- 平成30年(2018年)
 - 「18歳成人改正民法成立
 - 働き方改革関連法が成立
 - 2025年万博、大阪で開催決定
- 平成31年(2019年)
 - 4月 新元号発表
 - 5月1日 皇太子殿下天皇陛下へ新しい元号始まる

40周年記念イベント

40th センター祭

協議会設立40周年記念「第40回おぎくぼセンター祭」が、平成30年7月21日(土)、22日(日)の両日開催され、1,950名の来場者で賑わいました。

舞台では、小中学生のコーラス・吹奏楽、おやじバンド・フラダンス・伝統芸能、高齢者のファッションショーなど16の多彩な出し物が演じられました。体育室や集会室では、プラネタリウム・



桃二小早朝合唱合奏クラブ

似顔絵・鉄道模型運転ほか様々な展示やワークショップが催されました。ロビーや屋外には産直品などの物販や模擬店が並び、協議会自身も模擬店・缶バッジ・スタンプリナーなどを実施し、イベントの盛り上げに努めました。

地域の皆様のご協力の下、小さな子どもたちからご高齢の方々まで、楽しんでいただくことが出来ました。



移動式プラネタリウム



館外風景

40th アート展

協議会の主要イベントであるアート展は平成31年2月9日(土)、10日(日)の両日に開催され、時折雪がちらつく中、約600名が来場しました。設立40周年を記念し、区民参加型の通常展示に加え、特別展示として、「田河水泡展～『のらくろ』の作者の荻窪時代～」を併催しました。

通常展示は、「小中学校の生徒及び幼稚園・保育園の園児の作品」、「区民の作品(個人部門とグループ部門)」を合わせて展示総数は約1,000点と、かなりの展示規模に上りました。また、「アートな体験コーナー(缶バッジや塗り絵など)」を設け、子ども連れの家族が楽しんでもらえる

ように配慮しました。

特別展示の田河水泡展は漫画「のらくろ」の単行本や掲載雑誌「少年倶楽部」の展示・閲覧に加え、水泡氏が荻外荘の近くにお住いだった頃(1933年～60年)の写真や手紙を展示しました。また、生誕120年の日(2月10日)には、愛弟子の山根青鬼氏より、水泡氏の思い出や「のらくろ」についてお話をして頂きました。



神明中ミンクフジラ



山根青鬼氏のお話

40th 『荻窪の記憶』

明治・大正・昭和にかけて別荘地から文化人を含む多彩な人々が暮らす郊外住宅地へと発展してきた荻窪の歴史を掘り起こし、後世に伝えるべく、当協議会は「荻窪の記憶」プロジェクトを立ち上げました。

昨年度来、杉並区立郷土博物館分館・西館1F、及び、荻窪地域区民センター・ロビーにて、都合4度の展示を実施しました。また、荻窪地域区民センター協議会設立40周年記念キャンペーンの一環として、「荻窪の記憶を伝える『道の愛称』」の募集を行い、冊子「荻窪の記憶」を発行しました。

●パネル展示

- ①荻窪の記憶 大田黒公園周辺100年の歴史
- ②荻窪の記憶Ⅱ 天沼100年の歴史

●道の愛称 募集

愛称は「荻外荘通り」に決定。抽選で5名に記念品を贈呈

●冊子の発行

「荻窪の記憶」を発行。A5判 80ページ



荻外荘通りチラシ



『荻窪の記憶』

40th 記念講演会

平成31年3月16日(土)午後1時から、設立40周年記念講演会として、慶應義塾大学(文学部)名誉教授で東京サザエさん学会代表の岩松研吉郎氏を講師に迎え、「『磯野家の危機』～サザエさんからのメッセージ～」を荻窪地域区民センター・体育室で開催しました(参加者80名)。

「サザエさん」の作者・長谷川町子さんは、荻窪とも縁があります。今年2月の「アート展」で特別展示した「のらくろ」の作者・田河水泡さんの内弟子になり、荻窪の田河邸で約1年間暮らしたことがあるからです。

昭和21年から49年まで新聞に連載された漫画「サザエ

さん」は時代の変化に敏感でしたが、アニメの「サザエさん」は放送開始の昭和44年で時間が止まったまま。

今後も視聴者に支持されるには、いままで避けてきた教育・住宅・老後という現代の家庭が共通に抱える問題に磯野家の人々も立ち向かう必要があると岩松氏は言います。



岩松研吉郎講師



40th 記念式典

記念講演会に続いて、午後3時から体育室で「設立40周年記念式典」が挙行されました。

協議会委員選出母体である荻窪地域の町会・自治会、商店会、小・中学校PTA、青少年育成委員会、民生児童委員協議会などの諸団体や行政の代表の方々が多数参加されました。

荻窪地域区民センター協議会を代表して中澤一郎会長の挨拶、杉並区民生生活部長・森雅之様、地域代表の安楽泰宏様のお祝辞

と続き、ご来賓の皆さまと協議会委員で設立40周年を祝しました。

最後に「荻窪の記憶を伝える道に愛称をつけるキャンペーン」の入賞者5名(「荻外荘通り」と投票された12名の方の中から抽選で決定)の皆さまの表彰を行いました。



来賓祝辞(森部長)



「道のキャンペーン」で入賞された5名の方々

40th 記念コンサート

平成31年3月23日(土)午後2時から設立40周年記念コンサートとして、満席の杉並公会堂小ホールで、「春とオペラとヴァイオリン」が開催されました。

第1部は、山崎貴子さん(東京藝術大学准教授、杉並区在住)が奏でる「スプリングソナタ」。

第2部は、高橋絵理さん、鳥木弥生さんをはじめ、実力・人気とも極めて高いメンバーが揃って、オペラの名曲・名場面を歌い、演じていただきました。

—プログラム—

- 〈第1部〉 ベートーヴェン ヴァイオリンソナタ第5番「春」
山崎貴子(ヴァイオリン)、吉武優(ピアノ)
- 〈第2部〉 「蝶々夫人」「カルメン」「アイーダ」「椿姫」ほか
高橋絵理(ソプラノ)、鳥木弥生(メゾソプラノ)、寺田宗永(テノール)、小笠原美樹(ピアノ)、東野匡訓(トランペット)



アンコール「無伴奏ソナタ」(パッハ)



アンコール「乾杯の歌」

荻外荘通り周辺マップ



荻窪地域区民センター協議会
40周年記念キャンペーン

荻窪の記憶を伝える道に愛称をつけよう

てきがいそう
愛称は「荻外荘通り」に決定！



与謝野公園(鉄幹・晶子旧居跡)



大田黒公園



幻戯山房(すぎなみ詩歌館)

(注)
◎：国指定史跡
●：国登録有形文化財

荻窪地域区民センター協議会では設立40周年記念事業の一環として、荻窪地域区民センターの前を通る道の愛称を募集し、町会・商店会・文化協会などの方々と選考委員会を開催し、お寄せ頂いた393通りの案の中から「荻外荘(てきがいそう)通り」を選出し、道の愛称を決定しました。*荻外荘通りの場所/起点：天沼陸橋南の信号、終点：大宮前体育館角、全長：約1.8km(上記地図参照)

「荻外荘」は内閣総理大臣を3度務めた政治家・近衛文麿の住宅・会談の地として昭和史の舞台になり、平成28年に国の史跡に指定され、現在、整備・復元が進められている歴史遺産です。このほかにも、沿道には西郊ロッジなど国登録有形文化財の指定を受けた建築物が散見され、歴史や物語を感じさせてくれる「荻窪の記憶を伝える道」に相応しい愛称と考えました。

荻窪地域区民センター協議会 40周年記念報
 ■発行：平成31年3月31日
 ■発行者：荻窪地域区民センター協議会
 〒167-0051 東京都杉並区荻窪2-34-20
 TEL.03-3398-9127 FAX.03-3398-9128
 ホームページ <http://ogikubokyougikai.sakura.ne.jp/>